

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	し尿処理事業	担当課・係名	環境美化センター 廃棄物対策係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	28
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	昭和52年度

2.事業の概要

目的 (何のために)	公衆衛生の向上				
対象 (誰を・何を)	し尿及び浄化槽世帯、事業所				
内容	町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥をし尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥については委託により処理し、し渣についてはごみ焼却施設で処理する。				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	50,926	54,936	54,557
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	27,830	26,477	29,287
	一般財源	千円	23,096	28,459	25,270
	職員人数 (概算職員数)	人			0.33
	人件費計 (b)	千円			2,022
総事業費 (a)+(b)	千円	50,926	54,936	56,579	
事業費内訳 H 25 年度	○消耗品 12,400千円 ○燃料費 3千円 ○光熱水費 22,000千円 ○修繕料 500千円 ○手数料 2,037千円 ○委託料 17,328千円 ○使用料及び賃借料 209千円 ○原材料費 80千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① し尿及び浄化槽人口	人	18,971	18,789	18,600
	②				
活動指標 (活動量)	① し尿及び浄化槽汚泥処理量	k l	9,227	9,192	9,100
	②				
成果指標 (達成度等)	① 1 k l あたりの処理経費	円	5,520	5,970	6,000
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当	<input type="checkbox"/> 変更の必要あり	<input type="checkbox"/> その他
	理由	町職員（現業職員）で実施している。			
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当	<input type="checkbox"/> 改善の必要あり	<input type="checkbox"/> その他
	理由	町職員（現業職員）で実施している。			
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている	<input type="checkbox"/> おおむね得られている	<input type="checkbox"/> 得られていない	<input type="checkbox"/> その他
	理由	し尿及び浄化槽汚泥の全量をし尿処理施設で適正に処理している。			
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的	<input type="checkbox"/> 非効率	<input type="checkbox"/> その他
	理由	施設の処理能力に合わせた施設運営を行っている。			
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った	<input checked="" type="checkbox"/> 図られていない	<input type="checkbox"/> 図る余地は無い	<input type="checkbox"/> その他
	理由	施設の老朽化が進み、施設の緊急修繕等の維持管理経費が発生している。			
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）			評価理由 適正に処理されているが、本施設のみでは平塚市と大磯町のし尿を処理できない状態が続いている。

5.改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿、浄化槽汚泥の受け入れを行っており、施設の適切な維持管理のためには整備計画を立て、計画的に整備していく必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
特になし
③ その他（課題、調整事項等）
現業職員の高齢化に伴い、運転管理委託の検討が必要となってきた。

6.平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、また、し尿処理施設の運転管理の一部を民間事業者へ委託して施設運営を行っていく。
